

問 町内の屋外消火栓は

答 順次ボックスを設置



大崎芳章議員

大崎

1月26日に重谷地区の河内神社を出火想定で行われた文化財防火訓練は、地区自主防災組織の皆さんが消火栓を使った訓練を行ったが、ホースが自然破損をしながら放水ができなかった。消火栓設備の維持・管理、消火栓ボックスの設置状況は。

下元総務課長

消火栓ボックス設置は口数233個、ボックス数143個、設置率61%で高幡消防組合管内では高い方である。消火栓の確認は、自主防災組織にお願いをしている。今後も各地区へ出向いて強化・充実を図りたい。

一般質問



問 災害時の避難受け入れは
答 協定に基づいた対応

大崎

南海トラフの大地震での津野町の避難者の予想は900名であるが、その他多くの須崎市民が津野町に避難してくると思われる。仮設住宅用の空地、休耕地等の事前承諾は。

町長

本町における仮設住宅必要戸数は202戸。葉山運動公園のグラウンド、B&Gの公園ではほぼ対応可能。昨年、須崎市と災害時の相互応援協定を締結。須崎市の方向性が決まり次第、協定に基づき用地調整をしていく。